

(2) 三次町歴史的街並み景観形成地区(別図2-A赤枠線内)

① 地区特性

中世の城郭のあった尾関山をはじめ、各種の歴史的文化施設や街の形態も江戸期の構造を残し、伝統的な形態の建物も数多く存在しています。

上市・太才通り、三次本通りの沿道地区は、江戸期以来、変わることのない道筋として商いを中心に栄えた通りで、明治・大正期に建てられた町家が数多く、歴史を感じさせる街並みが残っています。地域住民で組織する歴みち協議会において、まちなみ協定（建築協定）が締結され、歴史的な街並みの保全が進められてきました。

また、安心して歩いて暮らせるまちづくりを基本とし、歴史的な街並みと調和を図るために、石畳舗装の整備や街並みを混乱させている電線類の地中化工事が進んでいます。地区内には、寺社も多く存在しており、「うだつ」のある伝統的建造物や小路も残っています。



図2-1 現況

② 景観特性

- 中世の城郭のあった尾関山公園や各種の歴史的文化施設、伝統的な形態の建築物が点在し、また、町の形態も江戸期の町割りを残しています。
- 上市・太才通り、三次本通りの沿道には歴史的な街並みの保全・再生が進んでいます。
- 尾関山から三次町の歴史的な面影のある街並みを眺望できる特性があります。
- 公共施設や住宅が点在する地域は三次の昔からの生活を感じる落ち着いた景観を呈しています。
- 尾関山まで含めた三次町全体の歴史的建築物や街並みが持つ、独特な景観要素を保全し、また、阻害しない、統一された景観形成が望まれます。

③ 景観形成目標

歴史的な特質である「趣」のある景観を基調とし、もてなしや賑わいを創出し、統一された街並みにより伝統と歴史を伝承していく景観の形成をめざします。

したがって、景観形成にあたっては、次のことを柱として、重点的な景観形成に取り組めます。

- ①三次本通り、上市・太才通り沿道は、「うだつ」のある伝統的建築物の形態を活かした統一された街並み景観の形成
- ②三川合流部・尾関山からの眺望の立地特性を活かした三次町地区の全体で落ち着きと伝統を感じる街並み景観の形成



図2-2 課題図

④景観形成方針(別図2-A 参照)

1) 歴史的街並みゾーンは、伝統的建築物の形態を活かした統一された街並み景観を形成します。

- 伝統的建築物の保全・再生のため、建築物の高さ、屋根材、外壁、色彩などを統一します。
- 色彩は、白壁と黒瓦の色相が対比的に使用されている状態を維持するため無彩色の色調とします。
- 町のシンボルの「うだつ」を積極的に取付けます。
- 屋外広告物は、統一的な木板や墨書によるもの(屋根上)と大のれんによるものとします。



別図2-A

2) 歴史的街並み調和ゾーンは、尾関山からの眺望の立地特性を活かし、三次町地区の全体で落ち着いた伝統を感じる街並み景観を形成します。

- 建築物の屋根及び外壁の色彩など隣接する伝統的建築物と調和するものとし、統一した街並みを形成します。
- 人工物など設置する場合は、歴史的街並みに調和を図ります。
- 道路から見える沿道側の建物や塀・工作物は、歴史的街並みに調和する落ち着いた色彩に配慮します。
- 地区内の路地や社寺林を保全し、回遊性のある街並みの形成を図ります。